

令和5年度第3回銚田市男女共同参画推進委員会協議結果まとめ

内 容

1 開会

2 委員長挨拶

3 議事

【報告事項】

(1) 令和5年度銚田市男女共同参画講演会について

※意見については、別紙のとおり。

【協議事項】

(1) 第4次銚田市男女共同参画計画の進行管理について

⇒協議の上、以下のとおり、来年度の委員会において担当課を呼び評価する4事業を決定。

※意見については、別紙のとおり。

主な取組	番号	取組項目	担当課
I-1-3 多様な人・文化への理解促進	②	性の多様性への理解と配慮【新規】	健康増進課 ※令和6年度以降は、子ども家庭課が担当
II-2-1 子育て支援体制及び環境の充実	⑥	安全で安心できる居場所の提供	子ども家庭課
II-2-2 結婚支援の充実、妊娠期からの男性参加の促進	①	結婚支援事業の充実	まちづくり推進課
II-4-1 男女の違いに配慮した地域防災活動の推進	②	男女共同による自主防災組織の運営支援	危機管理課

(2) 「性別による無意識の思い込みエピソード募集」の実施結果について

⇒協議の上、以下のタイトルのエピソードについて、市広報紙やパネル等で優先的に公開していくことに決定。

「男だったら良かったのに」、「実家での出来事」、「料理は女性担当？」、

「この地域に女性消防士っているの？」、「男社会、『建設業』」、

「家庭科は女性の先生だと思っていた」、「娘のランドセル」、
「文系クラスだから女の子が多い？」

(3) 令和6年度銚田市男女共同参画推進事業について

⇒事務局案のとおり承認。

※意見については、別紙のとおり。

(4) その他

⇒事務局より、第3期推進委員の任期が令和6年3月31日で満了になる旨説明。

4 閉会

(1) 令和5年度銚田市男女共同参画講演会について

委員からの主な意見

・昨年度と比較した内容と、銚田一高と銚田二高のそれぞれで進路等も違いますので、その思いや考え方、卒業後すぐ就労される方もいたり、進学が主な部分もあつたりで、差異が出るのかどうかを参考までに聞きたいです。また、同じ講師の方なので、昨年度の比較も聞きたいです。

⇒昨年度と同じような形で、少し内容を追加して実施しました。主観的に少し感じたことは、昨年度よりも真面目に熱心に聞いていた生徒さんが多かったかなと感じています。アンケートの結果は、昨年度の回答率は76%程度でしたが、今年度の回答率は86%と大きく伸びていると思います。

また、アンケートの「講演会を通して、男女が共に輝く社会は実現できると思いませんか?」に関して、昨年度は、「実現できると思う」の回答が77%でしたが、今年度は昨年度よりも少し低く、その分、「わからない」の回答が少し多かったです。「今回の講演会は、自分の将来について考えるきっかけとなりましたか?」に関して、昨年度は、「とてもなった」と「なった」の回答が88.8%で、今年度よりも5%程度高く、今年度は少し下がってしまいました。その分、「どちらとも言えない」の回答が昨年度は8.3%で、今年度は13.8%でしたので、少し増えているような状況でした。

また、アンケートの記述回答を見ると、昨年度の講演会のときも同じでしたが、自分の家庭の状況によって、男女共同参画についても捉えていると分かります。

・講演会以外にも、学校の他の教育的な活動にも影響するかもしれないというように考えます。この辺についての取り組みと、先生たちへのアンケートやヒアリングなどは実施しているのでしょうか。もし実施していないのであれば、来年度以降も同様の取り組みを実施するとすれば、先生たちの刺激にもなるので、先生たちへのアンケートやヒアリングなども進めてもらえると、この講演会の意義と効果がさらに生まれると思います。

⇒日程調整等をする際に、先生たちにもどういった講演内容がいいかを少し聞き取りしていますが、そこまで詳しく聞き取りできていない状況ではあります。講演会終了後にももう少し詳しく聞き取りを行い、アンケートやヒアリングなどを通じて次回に繋げるといった取り組みを行っていきたいと思います。

(1) 第4次銚田市男女共同参画計画の進行管理について

委員からの主な意見

・単に「講演会を実施した」や「資料を配布した」というだけで、A評価にしている担当課もあれば、活かされているかどうかまで考えてD評価にしている担当課もあるので、それぞれの担当課の思いがこの評価シートから読み取ることができて良かったと思います。ぜひ皆様と意見交換をしたいのは、この委員会は事業を行う委員会ではないので、担当課が事業を推

進にするにあたっての意見を述べたり調査したりすることになります。できれば、一步踏み込んだ部分や、普段は見られない取り組みの部分などに関して、こういった効果が出るかについて、担当課と対談したり調査したりすることによって、担当課の意識が高まると思います。

また、市広報紙に年一回でもいいので、こうした委員会でのヒアリング調査などを掲載してもらうことによって、今何が必要なのか、何を改善しなければいけないのかが市民に伝わると思います。今までも色々な取り組みを行ってきていますが、それだけではなく、広報という活動や SNS を通して、その取り組みの一部を紹介してもいいと思います。ヒアリング調査での皆様の発言が活かされるようにということを考えますと、市広報紙での特集記事に掲載してもらうといった手法があってもいいと思います。

また、銚田市には自主防災組織がないです。県内のどこも取り組みが少ないです。こうした中でも取り組んでいる自治体で、色々取りまとめているのは区長さんですが、女性の区長さんは少ないです。昨年の台風で、消防団だけでなく、民生委員さんと一緒に救助したような状況もありました。自主的に、簡易的な避難場所をセッティングしたりもしました。これが例えば、女性がもう少しリーダーシップを取って行ってもいいと思います。根本的な部分に色々な課題があつたりしますが、自主防災組織がないことも男女共同参画が進んでいない一つの理由だと思います。

- ・「Ⅰ－１－１ 幅広い世代への男女共同参画の広報・啓発活動」の「②市広報紙や SNS を活用した啓発」を選びました。結構見ている市民の方が多いといった印象の市広報紙に、特集記事として、こうした男女共同参画に関する内容を年一回でも掲載できたらいいと思いました。
- ・「Ⅱ－４－１ 男女の違いに配慮した地域防災活動の推進」を選びました。今頻繁に地震が起きていて、東日本大震災のような大きな地震がまたいつ起きるか分からない状況です。避難するときの名簿者を、今まで 65 歳以上の方を対象にしていたのですが、今回からは 75 歳以上の方を対象にするということで、もし何かあった場合に、そうした名簿者のことを知らせているのは消防署と警察署と民生委員です。その中に区長さんは入っていません。これからは区長さんにも構成員になってもらいたいのので、色々と動いている状態です。この間起きた能登半島地震のように、自分の地域でも、高齢者や障害者の方が住んでいる場所などを地域ぐるみで把握してないといけないと思います。防災知識や避難誘導などについても、区長さんも含めて地域ぐるみで把握しないといけないと思います。
- ・災害が多い今、基本的にまず難しいのは、自主防災組織の意味を理解されていないケースが多いということです。避難所運営もあります。女性の意見を反映した避難所や、避難所の考え方についても、女性の視点から発言してもらう機会も必要だと思います。今回は、「Ⅱ－４－１ 男女の違いに配慮した地域防災活動の推進」の「②男女共同による自主防災組織の運営支援」と「③女性の視点を取り入れた避難所運営の構築」を一緒に評価した方がいいと思

います。

また、「1-1-3 多様な人・文化への理解促進」の「②性の多様性への理解と配慮【新規】」のフレコンセプションケアの取り組みは、県内でも銚田市が進んで取り組んでいます。プレコンノートを配っているだけでもすごいです。「1-2-4 性に対する理解と配慮」の「①思春期保健の充実」もあり、中学生の頃が思春期で結構大事な時期だと思う部分もあるので、中学生向けには少し難しいかもしれませんが、思春期で心において体においても色々な課題があるので、これらの事業を一緒に今回評価した方が、担当課も健康増進課なのでいいと思います。

⇒危機管理課と健康増進課から2事業ずつ選ぶのではなく、それぞれの課から1事業ずつ選んでもらえればと思います。令和6年度から事業評価を毎年実施しますので、一方を令和6年度に事業評価し、もう一方を令和7年度に事業評価してもらえればと思います。

・避難所は法的にある程度決まって設置されていますが、自主防災組織は法的にそこまで決まっています。決まってはいませんが、全国の災害を見るたびに、その必要性や重要性、位置づけについて認識させられます。本来であれば、自主防災組織ができていて、その中でボランティアなどが自主的に避難所運営も行っていくのがいいと思います。もちろん、ボランティアだけでできない部分は、行政が延長的に行っていくしかないと思います。原子力事故などにも備えて、マニュアルを全部ケースバイケースで作って、シミュレーションもしないといけないと思います。今はそこまで自主防災組織ができておらず、自主的に協調して助け合おうというのもできていない中で、避難所運営を先にヒアリング調査して意見交換をしてもどうなのかと思います。

・自主防災組織も避難所運営もどちらも大事だと思います。特に女性は、一人で避難所に行くとならば性犯罪などに巻き込まれたりといったこともありますし、自身もいつ起きるか分からないので、避難所運営を選びました。

・自主防災組織の具体的な取組内容に「女性と男性の役割分担についても理解促進を図る」とありますが、役割分担は必要なのでしょうか。少し疑問に思いました。避難所運営でも役割分担は必要なのかと疑問に思えてきたので、選ぶのが難しいです。

⇒そこまで明確な役割分担はないと考えています。ただ、どうしても女性のプライバシーがある場所などには男性は行けないので、そうした場合には女性に行ってもらおうというような役割分担ではないかと認識しています。

・「1-2-1 一人ひとりの個性を生かした指導、選択を広げるキャリア教育の推進」の「①ジェンダー平等の視点に立った教育・保育の充実」も一番根本的な部分で非常に重要だと思います。この点も踏まえて検討するのもいいと思いますが、具体的な政策として何か見える形の中から、進捗状況を追いながら、それに対する意見交換して改善を促したり充実させたりといったヒアリング調査が分かりやすくいいと思います。その内容を市広報紙で特集記事を掲載してもらおうというのも分かりやすいと思いますし、重要だとも思います。

- ・結婚支援事業は、本当にどこの市町村でも超少子高齢社会が進んでいるので、一番基本となる部分だと思います。地域の中で新たな担い手を作り上げてくといった点でも重要な点という気がしました。特に結婚支援事業は、まちづくり推進課でよく取り組んでいると思いますし、新しい支援策もそれなりに成果が出ているのが評価シートからも分かります。ただ、未婚についての男女の基本的な考え方などについては、ヒアリング調査をしたことがないと思います。こうした視点から、ヒアリング調査をしてその取り組みのアプローチ方法について、男女共同参画の視点から皆様と意見交換できればいいと感じました。

(3) 令和6年度鉾田市男女共同参画推進事業について

委員からの主な意見

- ・ロールモデルとなる女性人材の周知ということで、素晴らしい取り組みだと思います。男社会の中での女性を意識した内容なのか、そうではなくて、男女関係なく色々な立場で活躍されている方の姿を紹介するのによって違ってくると思います。男社会の中で女性が頑張っているというのは、少し昔の話かなと思います。こうした点を踏まえて、女性人材を選ぶ際には要チェックしていただいて、コンセプトも明確にした上で実施したら素晴らしい活動になると思います。
- ⇒男女関係なく色々な立場での活躍があると思います。男社会の中で女性が頑張っているといった時代ではなくなってきていると思いますので、コンセプトとしてどのように実施していくのか、そうした部分を協議しながら取り組んでいきたいと思います。すぐに終わってしまうような内容ではなく、定期的に女性人材を広報紙等で周知していくといった形で、継続的に長く取り組んでいきたいと思います。内容については、こうした点を踏まえながら、もう少し事務局の方で検討しまして、再度皆様と協議していきたいと思います。